

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

1 実践テーマ	【 I , III , V 】
2 実施対象者	茨城県立磯原郷英高等学校 1 オリンピック・パラリンピックを学ぶ；全校生徒352名 2 オリンピアン講演会；全校生徒352名 3 パラリンピック種目体験；2年1組，2年4組生徒；合計57名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間, 学級活動) ② 行事名 (磯原郷英高校オリンピック講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・オリンピック・パラリンピックの自国開催の機会を生きし、スポーツへの興味・関心を高める。また、オリンピックでメダルを獲得した選手の講話を聞くことで、生徒が生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。さらにパラリンピック種目体験を通して、インクルーシブな社会（共生社会）の啓発と理解を深める一助とする。
5 取組内容	1 オリンピック・パラリンピックを学ぶ（全校生徒352名対象） ・公認教材「I'm POSSIBLE」を活用し学習する。 ・クイズ形式で教材を作成し学習する。 ・「総合的な学習の時間」を活用し、全学年クラスにて実施する。 ・意義と歴史を学び、オリンピック・パラリンピックへの関心を高める。 2 オリンピアン講演会（全校生徒352名対象） 講師 筑波大学 助教 平岡 拓晃 先生 ロンドンオリンピック柔道60Kg級銀メダル ①オリンピック講演会「失敗＝ダメじゃない」 ・失敗に対する考え方 ・目標を立てる効果とポイント ・プレッシャーへの対処法 ・努力について など ②柔道実技講習・デモンストレーション ・投げ技のデモンストレーション ・一般生徒への技の解説 ・柔道部員・経験者への実技指導 など
	 

	<p>3 パラリンピック種目体験（2年1組，2年4組57名実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック種目について学習し，インクルーシブへの啓発とする。 ・パラリンピック種目体験によりパラリンピックへの興味関心を高める。 ・ボッチャを体験し，パラリンピック種目が特別なものでなく，誰でも参加できて楽しめる競技であることを知る。 ・ボッチャ体験を学級活動で行い，教室を競技スペースとして実施した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>6 主な成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリンピック・パラリンピックを学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・クイズ形式で学んだことで，楽しく取り組む事ができ，意義や歴史を再確認し，興味関心を深めることができた。 2 オリンピアン講演会 <ul style="list-style-type: none"> ・平岡先生自身の体験をふまえた話を直接聴くことができたため，いずれの言葉にも説得力があり生徒にストレートに伝わった。 ・本物のメダルを触る時間もつくられ，自分で触れる貴重な経験となった。 ・デモンストレーションでは，間近にオリンピックメダリストの技を見学し，さらに技を論理的に解説してもらったことで，一般生徒も興味関心が高まった。 3 パラリンピック種目体験 <ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャを体験し，パラリンピック種目も特別なものではなく，自分達も楽しめる競技であること気づけた。それによりパラリンピック種目にも興味関心をもつきっかけになった。
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリンピック・パラリンピックを学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・クイズ形式で学べるようプリント作成し，さらに学ぶ内容を精選し興味関心をもって楽しく取り組めるようにした。 2 オリンピアン講演会 <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピアンの講話という貴重な体験をできるだけ多くの生徒が受けられるように日程調整した。 ・柔道実技講習会・デモンストレーションでは，体育館でマットを使用することにより一般の生徒も全員で見学できるようにした。 3 パラリンピック種目体験 <ul style="list-style-type: none"> ・興味を喚起するためボッチャのルール等の紹介プリントを作成した。 ・取り組みやすさを優先し，教室内で制服のまま実施した。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会を実施する場合に講師のリストが無く講師選定が難しかった。また，推進校でない場合の予算確保が難しいと思われる。 ・種目体験において専門的な道具やコート等設備が必要な競技は取り組むのが難しいと思われる。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国体の自県（茨城）開催，オリ・パラの自国開催の機会を生かし，スポーツへの興味関心を高める「学び」の機会を企画する。 ・「ボッチャ」をクラスマッチ種目で実施することを検討する。 ・「ボッチャ」以外（シッティングバレーボール等）のパラリンピック種目体験の機会を企画する。